



PROGRAM NOTE 2018 年 4 月

アリゾナの空の下「BCL を語る」 大武逞伯 X 尾崎一夫

尾崎：アリゾナまでよく来ていただきました。北は大雪で大変でしたね。こちらは毎日突き抜けるような青空の下でサボテン砂漠の曠野は冬知らずです。
大武：全くそうですね。せっかくの Winter SW Fest 年会の会場も悪天候で停電になってしまい不便さを忍びながら 3 日間をなんとか無事過ごしました。
尾崎：毎年アメリカで冬に開かれる大会ですが、今年はどうでしたか。
大武：去年は 30 周年記念で出席者は 100 名でしたが、今年は 120 名ということで人数的には落ち着いていると思います。ヨーロッパでは常連の方たちが健在でしたが、アメリカでは何人か顔見知りの方が亡くなっておられ

ました。

尾崎：世界を回って色々な国々の方とお会いされながら、外からは日本の「BCL」というのはどのように見られているのでしょうか。

大武：世界にいちばん目を向けさせたのは、やはり日本で起こった「BCL ブーム」でしょう。メーカーがこぞって性能の優れた小型サイズで手頃な値段の受信機を通信機型やポータブルでも開発したのですから。「日本では、あんな凄いモノが作れるのか」と驚いたのです。

尾崎：それに呼応して小・中学生まで巻き込まれてラジオが全国的に売れ、BCL ファンの間でベリカード集めに火がつき、受信レポートを処理する放送局側もてんでこ舞いになってしまいました。

大武：当時の BCL 世代の平均年齢は欧米に比べて日本は若かったのですが今は韓国や中国でも若い人がラジオを聞き始めています。それも海外放送は短波ラジオではなく、インターネットで番組をダウンロードして聴くという傾向が強くなってきているようです。

尾崎：では、ベリカード発行も当然ネット送信ということですか。

大武：はい。受信報告書もベリカードもすべてネット処理に移行する傾向が見られますが、短波受信と違うのは、遠くの局からの電波をフェーシングの中から必死に捉え、「あっ、聞こえた！」という喜びがネット受信では得られないということです。ハムフェアのアンケートでも圧倒的に 95% が「ラジオは短波で聴いています」という回答でその気持ちがわかります。

尾崎：そのような努力の結果としての貴重なベリカードですが、たまるとその処理が悩みですという相談も多いのですが、何かアドバイスはないでしょうか。

大武：まず、苦勞して集めたベリカードにまつわるエピソードは必ず書いておくことです。「日本短波クラブ」の会誌に投稿してくだされば会誌仲間でも楽しむことができます。みんなで分かち合うことで喜びの輪が広がります。ダンボールいっぱいになった古いベリカードは、処分する前にスキャンして電子化してパソコンに保存するようお勧めします。アメリカのボストンでジェリー・バークさんが個人で世界中のベリカードを収集保管しておられます。提供できる資料があれば提供してください。米国の保存団体は、**Preserve Radio Verification** で検索できます。

尾崎：大武さん個人の QSL カード「この一枚」をご紹介くださいますか。

大武：それはセントヘレナ島からの「七夕放送」のベリカードです。この島は英国領でフランスのナポレオン皇帝が幽閉されたところでした。昔、某会社が短波局を一日だけ借りて宣伝放送をしていたのですが、設備が老朽化したためあわや放送中止というときに、ドイツの短波ファンが中心となって掘金運動が展開されました。日本からは援助金と送信機を寄贈して、現地の高校に「無線局」を開局させたのです。この局が年に一回電波を出して、それをキャッチした人には QSL を発行するというので『七夕放送』と呼ばれて人気局となりました。ところが後日、島を襲った強風でアンテナが倒壊したためそのイベントは出来なくなってしまいました。しかし、高校の無線クラブは今も簡易アンテナで世界の人々との交信を続けています。日本の短波仲間がセントヘレナの若者たちに世界の DXer とのかけ橋となられたことを今も誇りに思っています。これが私の QSL「この一枚」です。皆さんも「思い出の QSL 裏話」を聞かせてください。

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
4月07日	アリゾナの空の下で BCL 談義 大武逞伯	4月08日	ヨルダン・イスラエル聖地巡礼の旅 (1)
4月14日	日本短波界のレジェンドたち 石川俊彦 (1)	4月15日	リスナーからの手紙「お便り交換の時間」
4月21日	日本短波界のレジェンドたち 石川俊彦 (2)	4月22日	ヨルダン・イスラエル聖地巡礼の旅 (2)
4月28日	日本短波界のレジェンドたち 坪井達夫 (1)	4月29日	ヨルダン・イスラエル聖地巡礼の旅 (3)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただきます。(mp3 形式)

放送時間：日本時間 午前 7 時半～8 時 15410kHz (再放送) 午後 8 時～8 時 30 分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)